

平成二十七年

初心者講座のご案内

高山市文化協会では、習ってみたいと思いつながら二の足を踏んでいた方々に、気軽に文化活動に参加していただくため、毎年秋に様々な初心者講座を開催しています。

いずれの講座も文化会館で開催します。受講料は、材料費以外は無料です。この機会に、ぜひご参加ください。

「やさしい詩吟」

漢詩・和歌・俳句等を、声を出して吟じる、分かりやすくやさしい講座です。腹から声を出す詩吟は、腹式呼吸の活用により、健康に良いと言われています。

◇日程 十一月～十二月の金曜日、全五回

◇時間 午後七時～九時

◇講師 日本吟道学院暁友会 飛驒本部 唐澤龍宗

「民踊・新舞踊」

飛驒の民踊をはじめ、全国の民踊や新舞踊等を、初心者の方に楽しく踊ってもらうことを目的としています。

◇日程 九月から隔週木曜日 全八回

◇時間 午後七時～九時

◇講師 豊飛会 中田豊飛真

「木版画年賀状」

木版画による多色刷り年賀状作りを体験します。初心者に限らず、今まで挑戦してみたいけれどもうまくいかなかった方も、ぜひご参加ください。

◇日程 十月の水曜日、全五回(一回目のみ木曜日)

◇時間 午後七時～九時

◇費用 材料費 千円程度

◇講師 木版塾 大門孝藏

「祝い唄 めでた」

高山の祝い唄「めでた」を学びます。前唄、本唄、返し、納めまで歌えるよう指導します。他に「東海道(大津絵ひだぶし)」などを学びます。

◇日程 九月下旬～十月の土曜日、全三回
◇時間 午後七時～九時
◇講師 高山音頭会 中村重信

「現代洋楽三味線」

現代的な旋律を解り易く説明します。指先を使うことは、認知症予防にも役立つといわれています。音楽を楽しみ、自分を明るくしてくれれます。練習用の三味線をご用意します。

◇日程 九月～十月の土曜日 全八回

◇時間 午後七時～八時

◇講師 徳山流藤泉会 会主 徳山藤泉

お申し込みは、八月十三日(木)までに、文化会館窓口

飛驒文芸祭 作品募集中

文芸祭の締切が近づいて参りました。皆様の創作活動の成果を、ぜひお寄せ下さい。

- ◇対象 飛驒地域在住・在勤・出身者
- ◇ジャンル 小説・戯曲・児童文学・随筆・エッセイ・評論・現代詩(3篇)・短歌(10首)・俳句(10句)
- ◇応募方法 氏名(筆名)、住所、電話番号、ジャンルを明記の上、郵送、メール又は文化会館までお持ちください。
- ◇締切 平成27年8月15日(土) 当日消印有効
- ◇参加費 無料
高校生以下の方もご参加いただけます。詳細は文化協会(34-6550)へお問い合わせください。

- ◇会場 光ミュージアム(中山町)
- ◇料金 入館料が必要
- ◇日時 七月四日(土)～五日(日) 午前十時～午後五時
- ◇会場 文化会館三階講堂
- ◇料金 無料
- ◇今井クラシックバレエスクール 発表会
- ◇日時 七月十八日(土) 午後予定
- ◇会場 文化会館大ホール
- ◇料金 無料

「風目(目)」

長崎の平和記念像は、右手を上に挙げ左手を水平に伸ばしている。作者の北村西望は「右手で雷を制し、左手に鳩を」と言っている。雷は原爆で鳩は平和の象徴だ。

この平和像は、プロレスラーのような堂々たる肉体美で、この像を見て、私はバチカンの礼拝堂にあるミケランジェロ作「最後の審判」におけるキリストを思い出した。あのキリストもプロレスラーのようなたくましい肉体美で、右手を振り上げている。

どっちも力強い右手というところが気になる。平和や正義は、強い力がないと守れないものなのだろうか。左手で鳩を集めているだけでは、単なる「乙女の祈り」で終わってしまうのだろうか。

中国の海洋進出や北朝鮮のテポドンなどを見て、憲法改正や集団的自衛権の見直しが検討されている。つまり右手の使い方だ。

雷を制する平和像の右手の先をよく見ると、雷除けの避雷針が付いている。

〈ガンモン毛筆〉